

A full-page photograph of a woman with short grey hair and glasses, wearing a long leopard print coat over a white shirt and blue trousers, standing on a busy city street. The background is filled with people, cars, and large red and yellow banners. The text 'EGAO' is overlaid in large white letters, and 'EGAO LOOKBOOK 2021-2022' is below it.

EGAO

EGAO LOOKBOOK 2021-2022



シニア世代を「えがお」に

シニアビューティを通して、 素敵なシニアの ライフスタイルを。

私たちの仕事は、写真を撮ったり、髪を切ったり、ネイルを施し、洋服を売る
ことだけだとは捉えておりません。

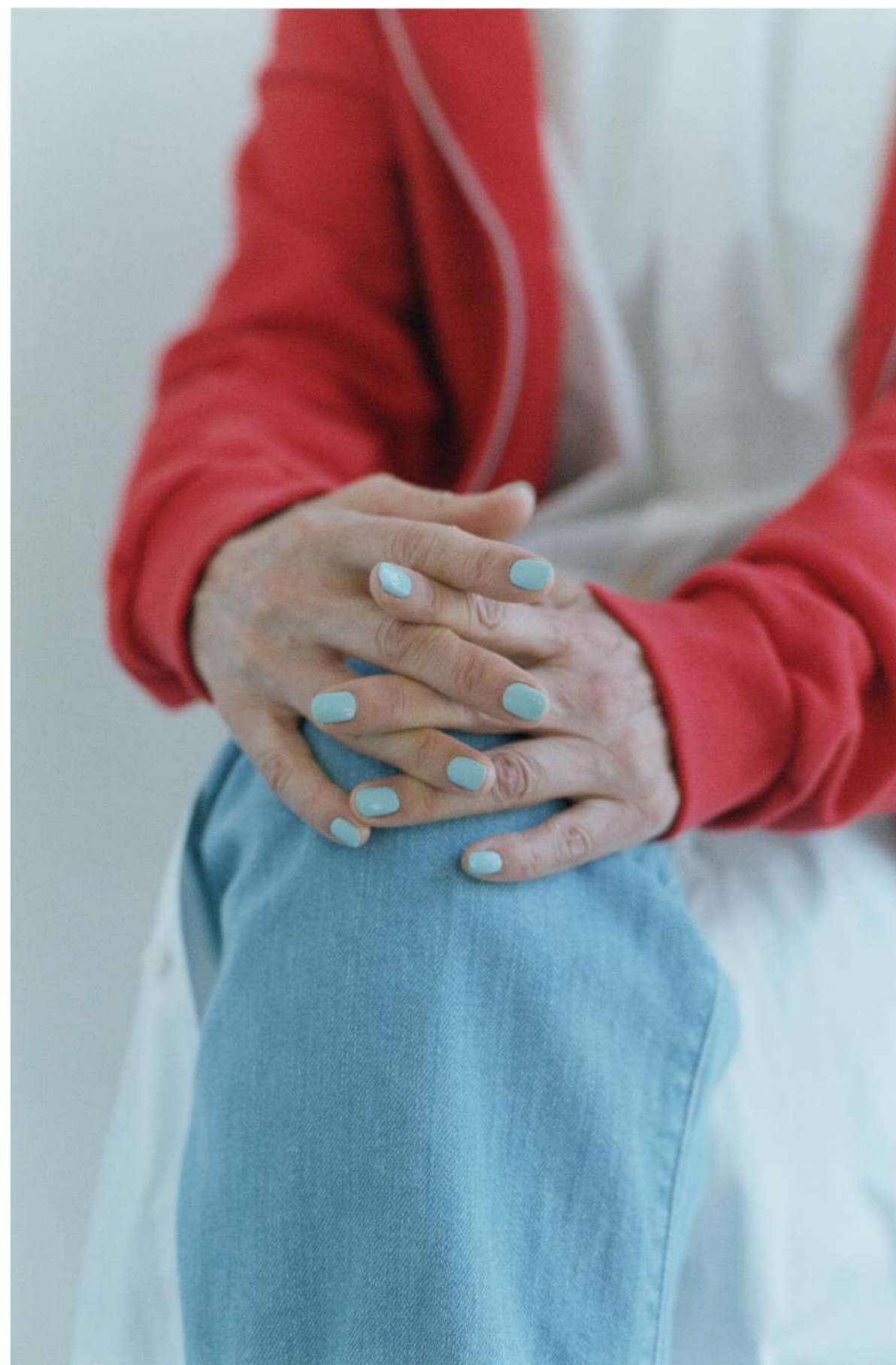
それらは手段のひとつに過ぎず、私たちは「シニアビューティ」を通して、「日本の健康寿命を延ばせるサービスを社会に提供すること」こそが本当の仕事だと考えております。

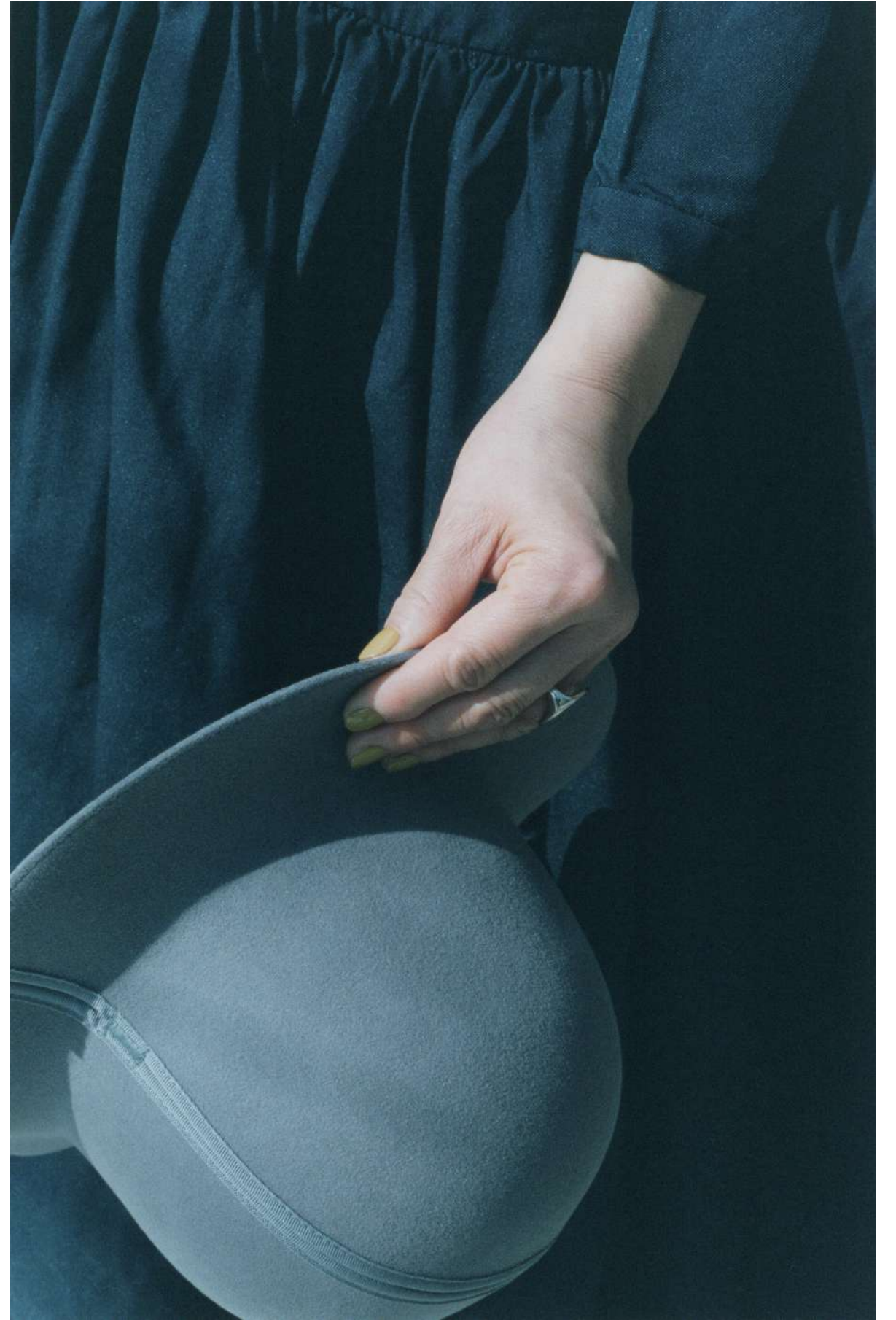
写真館や美容室、セレクトショップやネイルサロンといったこれらのビジネスは一見すると関連性が薄い様にも見えますが、根底にあるこれらを大きな使命と考えています。

シニア世代の女性たちにもっと自由にお洒落を楽しんで頂き、自分自身を表現することを楽しんでいただき、高齢化が進む日本社会において「えがお」あふれるシニア世代が増えることを目指しています。









代表取締役

太田 明良

Ota Akiyoshi

選択肢を増やすことで
“シニアビューティ”を
さらに面白く

私

たち『えがお』の歴史は20
14年に東京・巣鴨でシニア世
代専門の写真館『えがお写真館』を開業
したことに始まります。当初は苦戦をい
たしましたが、シニア世代専門という高
齢化社会にマッチしたコンセプトが受け
入れられて、年間千人以上のお客様にお
越しいただける様になりました。

写真館が軌道に乗ってきたタイミング
で、次なる挑戦をすることにいたしました。
それが『えがお美容室』です。

きっかけはお客様の声からです。えが
お写真館の特長として、ヘアメイクを行
ってから撮影をします。ヘアメイクの施
術の際にお客様から「髪はカットできな
いの?」「カラーはしてもらえないの?」
という声をよくいただきました。世の中
には多くの美容室があるのにも関わら
ず、その時はとても不思議に思いました。
しかし、理由を聞いて納得しました。「お
洒落な場所で、トレンドを入れた髪型に



してほしいけど、隣に若い子が座ってい
るとでしょ。私とても居辛いのよ」と。

そのことから、シニア世代に対してサ
ービスをしている僕たちが、美容室をや
らなければならぬと思い、2018年
に同じ巣鴨の地に『えがお美容室』を開
業しました。

最初は『シニア世代専門』という言葉
で推していました。しかし、誰が対象の
店なのかということよりも、悩みを解決
してくれるお店を提案する方が重要だと
感じ方針を転換しました。白髪の悩みを
相談される方が多かったので『グレイヘ
ア』という言葉えがお美容室の代名詞

として選ぶことにしました。

次に、えがお美容室を開業した際、お
客様の声で『今どきのトレンドが入った、
中価格帯の洋服屋（セレクトショップ）
に行きたいんだけど、若い子が多いから
入りにくいのよ』、ネイルにチャレンジ
したいんだけど、若い子ばかりいるところ
に行きにくくて・・・という声を聞
くようになりました。美容室同様、お客
様の声を実現しようと私は『どのように
洋服屋やネイルサロンを始めたら良いだ
ろう』と考えました。

単独店舗で出店するには「コスト」や
「リスク」が大きかったことから、すで

に運営を始めている美容室の顧客を軸に
新しいサービス業態2つを付加すること
にしました。コンセプトは『頭から爪の
先までのトータルビューティ』です。
ただ、今現在これらの提案はお客様に
全て受け入れられてるかといえば、まだ
まだというのが現状です。というより、
すぐにすんなりと受け入れられないこと
は想定内でした。

それは、私たちの提案は“今”ではな
く“これから”を見据えているからで
す。えがおビューティサロン（美容室・
洋品店・爪工場の総称）は、シニアでも
客層を2つに分けています。いわゆる
『65歳以上のシニア世代』と『50代
のネクストシニア世代』です。

この『ネクストシニア世代』は、いわ
ゆるバブル世代（1965〜69年に生ま
れた世代）で、『JJ』、『can cam』
など人気のファッション雑誌が誕生し、
レディースファッションが多様化してい
き、DCブランドやコンサバスタイルな
どの様々なファッションスタイルが出た
時代を生きた世代です。

えがお洋品店のファッションスタイル
の提案は、『ネクストシニア世代』の方
が受け入れてもらいやすいものです。そ
の上で、服のセレクト基準は「品質が良
いこと」、トレンドだけではなく「タイ



ムレスなデザイン”であり、押し付けで
はなく余白を感じさせることです。

また、シニアには「敢えて寄せない」
ようにしていますが、体型を問わずに着
られおそろくネクストシニア世代は、若
い頃にファッションが多様化していく流
れを経験しているため、今の若年層より
ファッションに興味を持つてる人が多い
でしょう。

今後、洋服をはじめ様々な選択肢を増
やしていくことで、更にシニアビューテ
ィを面白くしていきます。

おおた・あきよし 1979年石川県生まれ。上京し、ス
タイリストアシスタント（メンズファッション誌・アトリス
ト）2年間従事。スタイリストとして音楽関係のクラシック
デザイン事務所に入社。2014年株式会社サンクリーエ
ーション創業。2014年に東京・巣鴨にシニア世代専門の写
真館「えがお写真館」を開業。18年には「えがお美容室」、
19年には「えがお洋品店」「えがお爪工房」を手掛け、シ
ニアビューティの第一歩として活動の幅を広げている。





フォトグラファー

土谷 陽介

Tsuchiya Yosuke



2

美容師

テルイ タカヒロ

Terui Takahiro

お客様の悩みに寄り添った
トータルでのご提案

『え』がお美容室』は50代、60代のお客様の割合が高く、年齢を重ねても素敵な髪型でいたいと思われる、お洒落な雰囲気のお客様が多いです。

また、シニア世代ならではの髪のお悩みを抱えているお客様も多いです。年齢と共に変化する顔の形や髪質によって、今までの髪型が似合わなくなってくる場合があります。そのため、変化してしまつた箇所をカバーしつつ、**年相応で素敵な髪型をご提案**しております。

例えば、トップやつむじ周りのボリュームでお悩みの方には、ボリュームを出しやすい長さへのカットや、パーマで根元にボリュームを作ることをご提案しています。より具体的な提案をすることでおお客様の不安解消にも繋がります。

さらには、グレイヘアもえがお美容室での特長的なメニューです。今まで白髪といえは老いを感じさせてしまうものという印象がありました。

しかし、最近**は白髪を隠さず自然な状**

3

年齢を重ねてきた方にしか
出せない空気感が伝わるように

シニア世代といっても『えがお写真館』にお越しのお客様はとも元気で、気持ちの面でも若い方が多いです。撮影に関しては、とにかく楽しんで頂くのが一番。シンプルに撮影のポイントをお伝えして、ご本人の良さを引き立たせるポイントを見抜く事もとても大事になります。

撮影前のメイク中の会話などから、どのようなことに興味を持っているのか、何が苦手なのか、様々なヒントが会話の中に隠れていますので、そこからの様に撮影を行っていくのを撮影準備中、常にシミュレーションしています。

技術面では、私が長く師事しております上田義彦氏が、どんな人や物でも自分の美意識を貫き、徹底的に美しく撮影をしておりまして、そこで学んだ技術の経験値は大いに生かされています。

特に光に関して私の師匠は、自然光に強いこだわりを持って取り組んでおり、スタジオでライティングを行う際も出来



態の『グレイヘア』が流行り、白髪でも素敵に見せられることが浸透してきました。グレイヘアにしてみたいというお客様が増え始め、サロンにも相談にご来店される方が多いですが、不安に思ったり、自分にはグレイヘアをするにはハードルが高いと思う方もいらっしゃいます。

その際には、ヘアスタイルのことはもちろん、メイクや洋服のチェンジを含めて、**お客様がグレイヘアになった際に似合う素敵な形を、トータルでご提案**しております。

てるい・たかひろ シニア専門の美容師の第一人者、2018年1月にオープンしたシニア世代専門の「えがお美容室」創業メンバーの一。美容師歴16年、理容師歴3年。年齢を重ねた人の髪の悩みを分かってくれて、解決してくれと評判。特にグレイのヘアカラーとスタイリングに定評があり顧客満足度の高い技術を提供している。近著に「髪型を変えれば若返る」シニアビューティーヘア（講談社）などがある。

る限り自然光に見えるライティングを行っております。そのため当初は、このライティングの技術を写真館での撮影でも行えたらと思っております。

しかし、えがお写真館では、シニア世代の方に合わせたメイクを行っているため、そのメイクを出来るだけ自然に見せつつも、引き立つようなナチュラルなライティングを行っております。

撮影して思うのは、シニア世代の女性は、みなさん今まで経験して来た事が表情や仕草に全て出て来ていると感じる点です。とても深い人生経験を送っている方は表面的ではなく、とても魅力的な雰囲気を出しています。年齢を重ねて色々な経験をして来た方にしか出せない空気感が伝わるように、そのお姿を撮影させていただきます。

つちや・ようすけ 都内広告撮影スタジオ勤務後、日本広告界を代表する写真家上田義彦氏の元で10年間の修行期間を経て、2018年よりえがお写真館に所属。現在店長を務める。その微細な光を駆使したライティングとフィルム時代から養ってきた撮影、プリント技術を駆使した写真には定評がある。



次なる

シニア世代を

見据えて

60を過ぎれば「おばあさん」の時代はすでに去りました。

しかし、これまでの固定概念や時代の影響もあり、「年相応」な身なりをこなしてはと感じる方が多いのも事実だといえます。よく『私はもう○○歳だから』という言葉を取り、色々なことに自ら制限をかけてしまう女性は少なくありません。相応というのは色々な規範に自分を縛り付けていくことですが、無理をすることなく、「私はこれが好き!」と自分のスタイルを表現していくことが、人生100年時代には心身ともに豊かに健康に過ごしていけるのではないのでしょうか？

男性に比べて、女性のほうが「もっともっと」の想いに満ちていて、いくつになっても素敵でいたいと思う方が多いように感じます。私たちは女性の想いを満たすべく、シニア世代が「えがお」になって自由に素敵な自分を楽しむサービスを提案し続けていきたいと思っています。

魅力的なシニア世代が増えることで、次の世代が歳を重ねることにに対してポジティブなイメージを持ち、日本社会の活性化に繋がることを願っています。







4

シニア世代には年齢とともに現れる
お悩みを考慮してのメイク



ヘアメイクアップアーティスト

船津 有史

Funatsu Yusbi

これまで、年間1000人以上の方
をメイクさせていただきました。
年齢は40代から90代と幅広く、最高齢は
95歳の女性になります。常日頃から幅広
い世代のメイクをすることができると
は、えがおの特徴です。

若い世代とシニア世代のメイクをする
際の違いですが、若い世代は生まれつき
のコンプレックスをメイクによって解消
したり、流行りを取り入れたメイクをし
たいと思っている方が多いです。

それに対してシニア世代はコンプレッ
クスを解消する点は同じですが、それに
加えて年齢とともに現れてきたシミやシ
ワ、くすみ、年齢とともに失われたツヤ、
ハリをケアしたいと思っている方が多い
ことが特徴です。

その点が一番の違いなので、メイクを
する際もその点をケアせずに、若い世代
にするのと同じようにメイクすると上手
くないケースがほとんどです。

また、年齢とともに変化していくお顔

にできるメイク法があります。

面倒くさいな、難しいと言わず、一
番気になる所から、メイクしてみると楽
しくなってくるのではないでしょう。か。
何の問題もない完璧な美しい美肌を目指
すのではなく、色艶のよい元気で健康的
な肌を目指すことも、シニア世代の女性
にお伝えしたいことです。

また、女性の肌で一番年齢を感じるの
は、『肌質』です。年齢を感じさせない
肌は、ハリ感があり、シミやくすみのな
い肌。そして何よりも艶がある肌は、年
齢を問わずそれだけで、その方を若々し
く見せます。

艶はハリ感がつきます。ハリ感のあ
る肌密度が高い肌は若い！と感じます。
肌密度の高い肌はシワが目立たず、押し
返すようなもっちりとした感触です。反
対に年齢肌は乾燥が進み、しぼみ、たる
み、色艶のない肌、触れてもハリ感がな
く、残念ながら年齢を感じてしまいます。

内からと外からのケアで肌密度を上げ
ることが、年齢を感じさせない若々しい
肌を育んでいくと思います。

すずき・みほ 専門学校卒業後、アシスタントを経て独立
映画舞台CM・広告・雑誌PV撮影などで、俳優タレント・
モデル・ミュージシャンのヘアメイクの経験を数多く持つ。2
017年からサンクリースタジオに所属し、ヘアメイク人生の
集大成としてとくに美容の力を必要とする大人の女性のため
に「できる」に力を注いでいる。プロフェッショナルに「or
rouge」などがあふ。

5

内側と外側からのケアで
年齢を感じさせない肌へ

メイクアップアーティスト

鈴木 みほ

Suzuki Miho

シニア世代の女性たちが、ご自身で
メイクをする際のポイントですが、まず
メイクでどうしたいか、ご自分のお顔を
よく見ることはポイントになります。

例えば、大きなシミが気になるのあれ
ば、コンシーラーでカバーすることがで
きます。眉毛が薄くなってしまい老けて
見えるなら、アイブロウパウダーで描き
たすことができます。目がぼんやりした
印象が気になるのなら、アイラインをひ
くというように、お悩みに合わせて手輕

に合った色、明るさの化粧品を選ぶこと
も大事です。意外にも「昔のまま」同じ
ものを使っている方は多いです。ファン
デーションでいうと、ひとつ暗い色、リ
ップなどの色物の場合は彩度が高すぎな
い色を選んでみると、それだけでお悩み
が解消され、メイクの仕上がりが格段に
変わることがあります。

あとはやりすぎ、塗りすぎに注意する
ことです。例えば、シミが気になる場合
はファンデーション（コンシーラー）を
たくさん塗って隠そうとしますが、隠れ
るところか逆に悪く見えてしまうことが
あります。

昔と同じ化粧品を使いと同じ方法で量
を増やしてカバーするのではなく、どう
いったお悩みがあつて、どうしたいかを
考えると必然的にどんな化粧品が自分に
必要かが分かってきます。

そこさえ間違えなければ、最近はとて
も良い化粧品がたくさん売られているの
で、ご自身でも簡単に綺麗な自分になる
ことができると思います。

ふなつゆうし 都内・NYでの美容師として活動後、雑誌・
広告やアーティストなどのヘアメイクを経て、2017年に
集結のシニア専門スタジオ「えがお写真館」にヘアメイクアッ
プアーティストとして参画。2019年より「えがお美容室」
のディレクターも務める。美再生させたシニア女性は3年
間で300人以上。50代女性に支持を受けメイク講座など
も務める。近著に『悩みがぶ飛ぶ50代からのヘア&メイ
ク術（扶桑社）』などがある。









7

ネイリスト

久賀田 有紀

Kugata Yuki

華やかさよりも
普段の“お手入れ”を重視

90%以上のシニア世代の女性が、一度もネイルサロンを利用したことがなく、「キレイな手ではないから」と手を見せること自体を躊躇されることが多いです。そのため、えがお爪工房では爪を装飾し華やかなイメージを与える一般的なネイルサロンではなく、「お手入れ」と「ネイルサロン初心者」に特化したメニューを提案しています。

加齢と共にくすみがちな肌表面を整え、保湿をする「ハンドエステ」、爪自体を育て、滑らかに整える「ネイルケア」、美しいだけでなく、お悩みに寄り添ったメニュー提案を行っています。

ネイル初心者のお客様でもケアを続けていくうちに「次はマニキュアを塗ってみようかしら」。「ジェルネイルにチャレンジしてみたい!」とご希望内容が変わってきます。

主軸のお手入れメニューに加え、マニキュアやジェルネイルなどの一般的なメニューもご用意しており、シニア世代の肌がより美しく見えるよう配慮した力



6

トレンドに左右されない
タイムレスなデザインと
上質な素材

ファッションディレクター

関 隼平

Seki Junpei



パリの素敵なお洒落を楽しむ。そんな思いでえがお洋品店をディレクションさせて頂いております。日本では、ファッションは若者の為のものというイメージが強いかもしれませんが。

しかし、シニア世代だからこそ似合うファッションがあると思っています。トレンドに左右されないタイムレスなデザインを上質な素材で作る。そんなアイテムを中心にセレクトしています。

そして、来られた方が楽しい気持ちになれるような店作り。贅沢な時間と体験を皆様にお届けしたいと考えています。

せき・じゅんぺい 1979年東京生まれ。2008年にニロスの立ち上げに参加し、全店舗のバイイング、マネージメントを行う。2015年からはパリ店勤務となり2016年に独立。Fashion Improverとして様々なショップ、ブランドの価値を高める仕事をパリにてスタートさせる。2019年よりえがお洋品店のディレクターを務める。



ラーを揃え、爪が痛みにくいジェルネイルを使用しております。

私は、パリのネイルサロンで勤めていたことがあります。パリは暮らしや価値観がナチュラル思考です。手を加えるよりも「今あるものを活かす」「お手入れをする」という価値観が根付いており、ネイルでも同じ考え方です。ジェルネイルやデコレーションよりも圧倒的にケアメニューが多く出ていました。

トレンドは「ナチュラル志向」「マニキュア」。オーガニック素材のネイルカラーやクリームを使い、私が勤めていたサロンではフルーツやお花そのものをフットバスに入れていました。パリは圧倒的にジェルネイルよりマニキュアが多いです。彼女たちにとってのネイルはその日の気分を変えたいもの。ファッション、TPOに合わせたカラーを塗りがえることができるマニキュアが人気で、メイクのように楽しんでいます。

そのため、えがお爪工房でもその時の考え方をベースに、「お手入れ」に力を入れたメニューを展開しております。

くがた・ゆき 教員を経て、2009年ネイリストに転職。大手ネイルサロンにアシスタントで入社し、新店立ち上げ、教育チーフとして従事。2013年自身のネイルサロンを銀座で開業。現在もネイリストとして働く傍ら、自社サロン経営、協会運営を行う。2019年よりえがお爪工房のディレクターを務める。





EGAO
えがお写真館



1F Hikari Bldg.
4-22-26 Sugamo,
Toshima-ku, Tokyo-to
170-0002

OPEN 10:00~19:00
TEL 03-5944-5737
URL egao-shashinkan.jp
@ [egao_photostudio](https://www.instagram.com/egao_photostudio)

EGAO
えがお美容室



2F Yamashita Bldg.
3-20-14 Sugamo,
Toshima-ku, Tokyo-to
170-0002

OPEN 10:00~19:00
TEL 03-5980-7522
URL egao-salon.jp
@ [egao_hairsalon](https://www.instagram.com/egao_hairsalon)

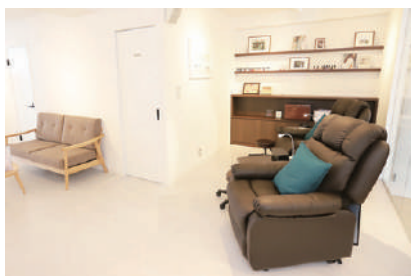
EGAO
えがお洋品店



2F Yamashita Bldg.
3-20-14 Sugamo,
Toshima-ku, Tokyo-to
170-0002

OPEN 10:00~19:00
TEL 03-5980-9850
URL egao-clothing.jp
@ [egao_clothing_](https://www.instagram.com/egao_clothing_)

EGAO
えがお爪工房



2F Yamashita Bldg.
3-20-14 Sugamo,
Toshima-ku, Tokyo-to
170-0002

OPEN 10:00~19:00
TEL 03-5980-7522
URL egao-nail.jp
@ [egao_nailsalon](https://www.instagram.com/egao_nailsalon)

≡SANcreation inc.

Producer: Ota Akiyoshi

Photographer: Yoshihara Junichi / Tsuchiya Yosuke / Ikeda Motoi

Makeup artist: Funatsu Yushi / Suzuki Miho

Hair stylist: Terui Takahiro / Ishikawa Takafumi / Mukai Mie / Hisataki Yuki

Stylist: Hisataki Yuki / Toki Mari

Manicurist: Kugata Yuki / Hashimoto Marie

Art director and Design: Takano Akifumi

©Sancreation inc. 2021

『EGAO LOOKBOOK 2021-2022』は企画、制作、フォトグラファー、メイクアップアーティスト、ヘアスタイリスト、ネイリスト、アートディレクター、デザイナーと全てサンクリエーションのスタッフで制作しており、モデルは全員**当社**のお客様です。





≡ **SAN**creation inc.